



食糧問題の解決と動物保護を両立 ボルネオに「緑の回廊」を作ろう

子どもとできる、小さなアクション

多様な生物が生息しているボルネオ島に年々広がる「アブラヤシ」のプランテーション。オランウータンの生息地が分断されたり、ゾウが敷地内を移動しようとして人間とトラブルになったりするなどの問題が起こっています。しかしアブラヤシからとれる「パーム油」は、世界の食糧供給に欠かせません。すべての人に配慮しながら、生物多様性を守るには――。

ボルネオ保全トラストジャパン（BCT）ジャパンは野生動物の保護区と保護区を結ぶ「ボルネオ緑の回廊」を作るなど、現地での生物多様性を守る活動をしています。日本の消防署の中古ホースを使った「オランウータンの吊り橋」(写真下)を作るなどの取り組みも。

「食品の成分表示の『植物油脂』の多くは「パーム油」のこと。食用油、マーガリン、スナック菓子、チョコレートなど、加工食品の表示を見れば、いかに私たちにとって身近な存在かがわかります。また動物園に行けば、その暮らしや行動から、動物たちが自然を必要としていることも感じられますよね。親子でこんな経

験を重ねて、遠いボルネオのことを身近に思ってください」と語るのは、理事を務める環境アーティストの池田泰子さん。
動物園で開催されるワークショップなどのイベントも好評。詳しくはウェブサイトでチェックしてみてくださいね。



1. 木の上で生活するオランウータン。2. 分断された保護区は、こうして行き来できるようにお手伝い。3. 不定期開催のワークショップも好評。4. 200円の寄付で「豊一枚分の森」が野生動物の保護区に。寄付200円ごとにバッジ1個がもらえます。「野生動物レスキューセンター」設立のための寄付も受付中

<http://www.bctj.jp/>



ボルネオ保全トラスト
(BCT) ジャパン

2006年マレーシア・サバ州に設立されたBCT(ボルネオ保全トラスト)を支援する日本の窓口が、2008年BCTジャパンとして活動開始。生物多様性保全のために「ボルネオ緑の回廊」を作るとともに生物多様性の重要性、持続可能な社会のあり方を伝えていく。

<http://www.bctj.jp/>